

2024年9月11日(水)

oViceの社会的存在意義 (パーパス)



oVice会社概要



会社情報

設立: 2020年2月

本社: 石川県七尾市

CEO: ジョン・セーヒョン

製品: オフィスやイベント利用のバーチャルオフィス

社員数: 約100名 (全員フルリモート)

顧客情報

2023年4月末時点
利用企業数 **4,000** 社

2023年4月末時点
有償登録
ユーザー数 **180,000** 人以上



発表者の自己紹介



みない

ゆかり

薬袋 友花里

〈経歴〉

読売新聞記者、在重慶日本国総領事館専門調査員、
日本航空（JAL）業務企画職（総合職）を経てoViceに。
これまで一貫して広報・ライティングに携わる。

〈入社のきっかけ〉

前職で勤務時、コロナ禍でほぼ全社員がリモートワークに。
「ちょっと良いですか」というオフィスにいたときのよ
うな声かけができないという悩みを抱えていた。そんな中
oViceを見て、これがあれば色々な人が自由に働ける世界に
なると考えて入社。

2024年7月末でoViceの正社員を辞め、業務委託に。同年8月
にジョージアに渡航し、海外ノマドを目指す人のためのワ
ークショップ「ノマドニア」に参加しながら、リモートワ
ークで勤務。





oViceのミッションと存在意義

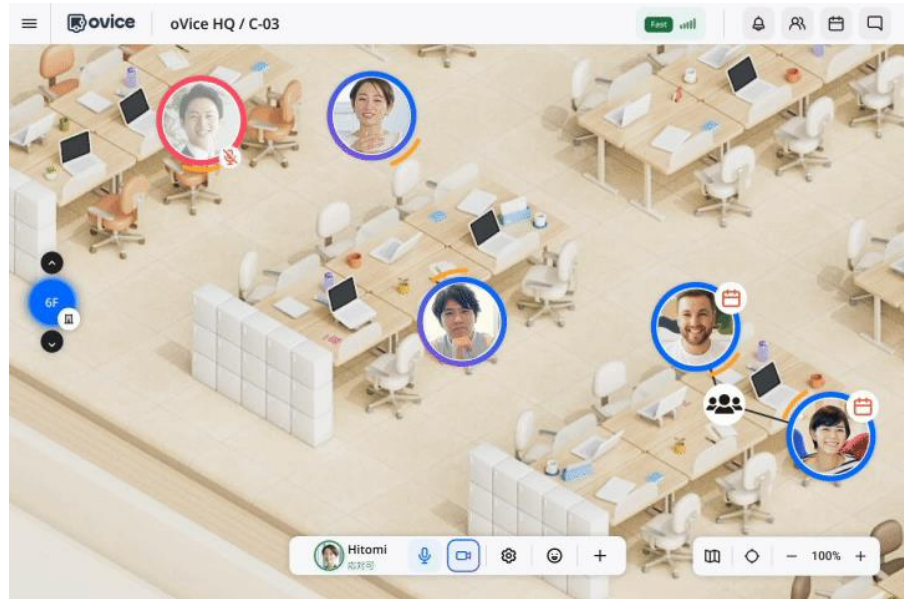


We Give the World Flexibility ～世界に_____を与える～

働き方・働く場所の選択肢を提供する

誰もがどこからでも“つながる”バーチャルオフィスにアバターで集まることで、仲間の「今」の状況を可視化あするとともに、働き方・働く場所の選択肢を提供します。

これにより、本社と支社などの物理的な距離が離れている人同士はもちろん、同じ会社内にいながらもどこにいるのかがわからない人とも簡単にコラボレーションすることができ、組織の生産性向上に寄与します。





Our Mission

ミッション

We Give the World Flexibility ~世界
に柔軟性を与える~



Our Vision

ビジョン

Unleashing the Next Generation of
Work ~次世代の仕事を解き放つ~



Our Value

バリュー

We Commit
We Focus
We Respect



バーチャルオフィス「ovice」とは

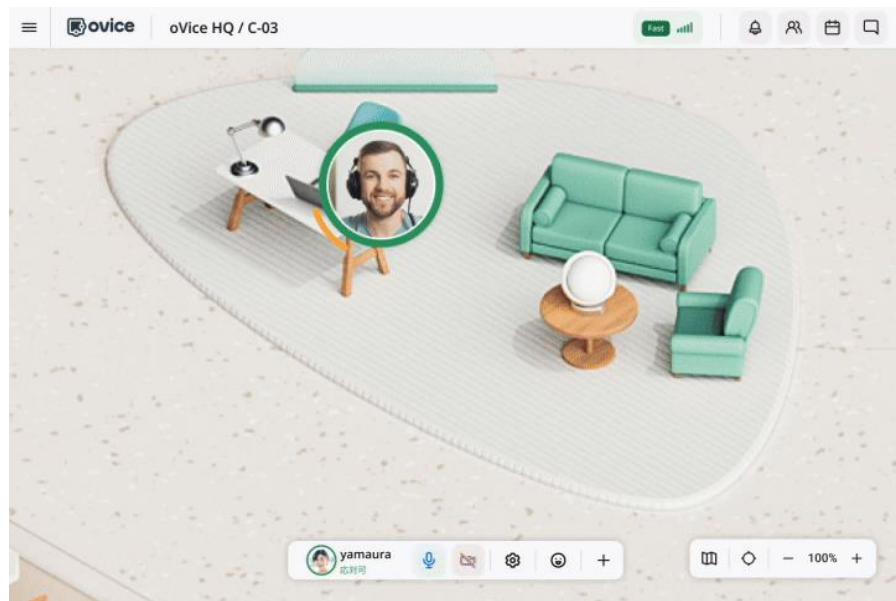


仲間の「今」の状況がわかる **バーチャルオフィス**



声かけ アバターを近付けると声が聞こえる。離れると聞こえなくなる。

可視化 誰と誰が話しているのか。誰が口とりなのか。各社員の現状が見える。





oVice社員の働き方



oViceの働き方

国内・海外に滞在しつつ、oViceへ入社

弊社の日常風景：世界中別々の場所においても「同じ空間」へ入社
 この強みを活かして世界各地から優秀な人材を採用

帰省先の
オーストラリアから勤務中
(同国出身)

ワーケーション先の
カナダから勤務中

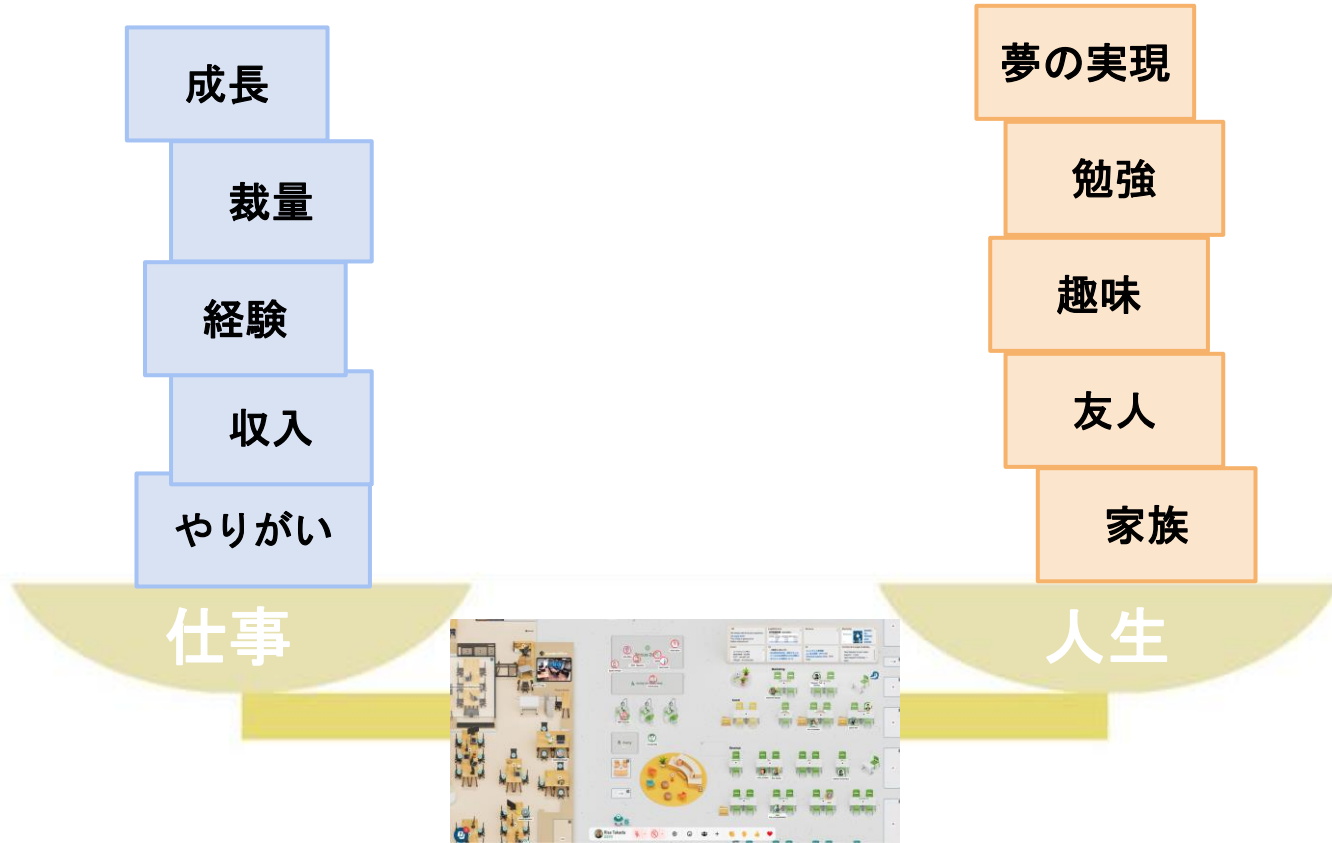
出張先の大阪から勤務中



oVice本社のある
石川県七尾市から勤務中

移住先の
マレーシアから勤務中

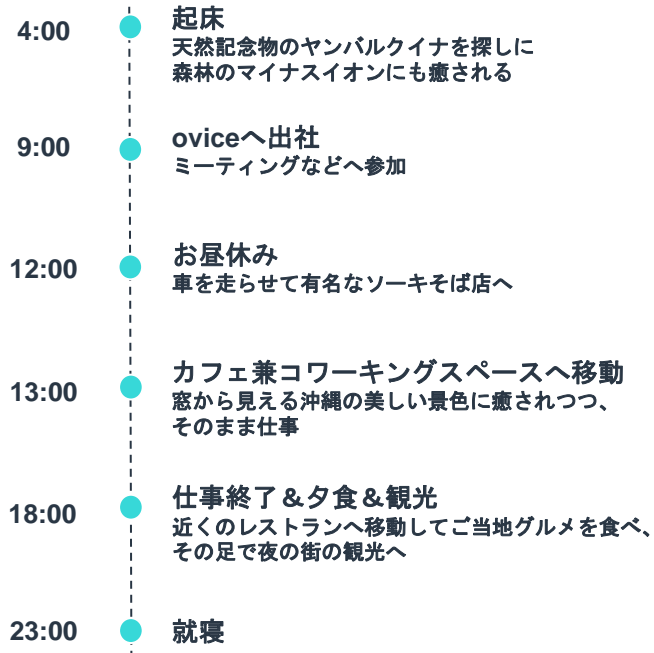
「場所や時間（オフィス）に縛られない」柔軟な働き方のメリット





ミナイのスケジュール例

リモートワーク@沖縄



リモートワーク@カナダ (時差を利用して勤務)



実際に導入している企業と働き方



dip

ハイブリッドワークの新しいカタチ。
オフィスでもリモートでも、シームレスにつながるovice

導入背景

- ・ コロナ禍で社員間の連携が取れず生産性低下
- ・ オンラインでは自然なコミュニケーションが困難
- ・ リモート入社の新卒・中途社員のエンゲージメント低下が懸念

導入効果

- ・ oviceで話しかけられやすい状態になり、コミュニケーション活発化
- ・ オフィスとoviceの垣根なく、気軽な会話でコミュニケーション円滑化
- ・ 新卒・中途社員の不安軽減、メンバー同士の情報共有・コラボレーションが向上





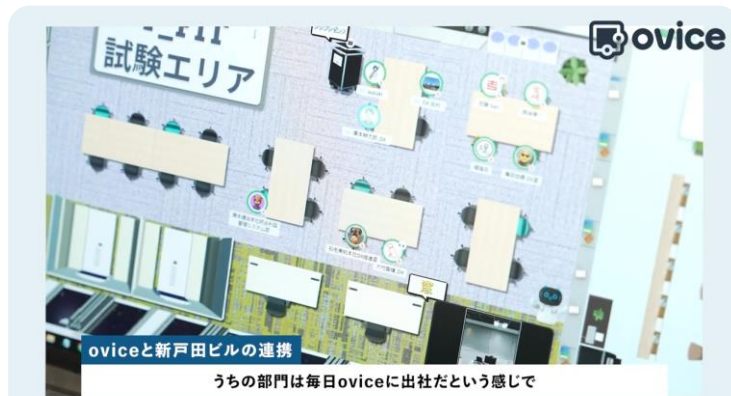
デジタルツインで実現する、スマートオフィス。 oviceが切り拓く、ワークプレイスの未来

導入背景

- ・ コロナ禍で社員間の連携が取りづらく生産性低下
- ・ 全国の現場とのコミュニケーションが電話やメールに限定されていた
- ・ フリーアドレスによる社員の所在把握の難しさ

導入効果

- ・ 在宅勤務者も含め社内コミュニケーションが活性化し、一体感が向上
- ・ 現場との情報共有やちょっとした連絡が容易に
- ・ 発言数などコミュニケーションの実態が可視化され、課題発見が可能



oviceによって変わる社会



個性を活かす

好きな場所に住みながら働けるため、趣味や個性を活かしながら働き続けられます。

※写真は趣味であるダイビング生活を充実させるために沖縄に移住したクリエイションラインの社員



キャリアの継続

キャリアをあきらめることなく、国内・海外問わず働き続けることができます。

※写真は子どもの教育のためにマレーシアに移住して働いているoVice社員



障がい者の活躍の場

オフィス出社が難しい重度身体障がい者の方も一緒に働くことができます。

※写真は重度障がい者の働く場としてoviceを活用しているMan to Man Animoの社員



バーチャルオフィス勤務による 経営上のメリット・デメリット



メリット

創発力

物理的に離れた部門・拠点間のコラボレーション
ダイバーシティ&インクルージョン

雇用機会の拡大

地域や国に縛られない優秀な人材へのアクセス
リモートワークで働きたいと思う優秀な人材への訴求

無駄の削減

時間

会話をはじめまでの時間（会議設定3分→0.5分）
社内での移動時間
人を探す時間
通勤時間

経費

物理オフィス（賃料、備品、水光熱費）
旅費・交通費

離職防止

ワークライフバランスの向上（可処分時間の拡大）
ウェルビーイング

物理的セキュリティ

ペーパーレスを前提としたワークフローの構築
物理的な手段による情報漏えいの防止

事業継続性(BCP)の向上

分散化されたリモートワークによる強靱な事業継続力



デメリット

<一般的に発信されることが多い項目>

- 生産性の低下
- 勤怠管理が難しい
- 評価制度
- コミュニケーション不足
- デジタル化が難しいワークフロー
- 情報セキュリティ



いずれも適切な「ツール・制度・運用」で克服可能












oVice社員が感じる メリット・デメリット



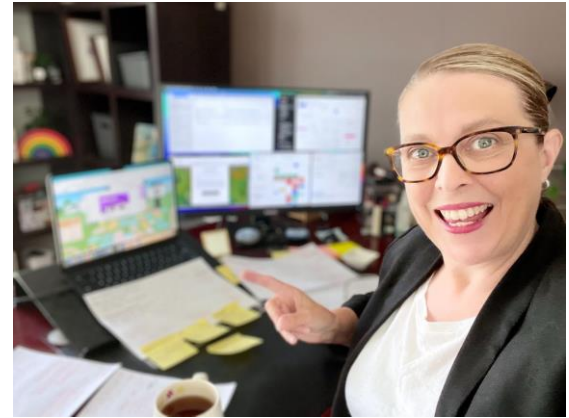
メリット

-  作業効率／集中力の向上
-  働く場所／空間の自由度
-  ワークライフバランスの向上
-  仲間と一緒にいる安心感
-  就労機会の獲得
-  出社にともなうコスト削減
-  感染症対策



デメリット (一般的に言われる事象)

-  孤独感
-  運動不足
-  実費の負担
-  プライベートとの切り分けの難しさ



質疑応答





oviceで新しいコミュニケーションを
体験してみませんか。

お申込み前にデモ体験することも可能です。



公式ページ

<https://ovice.com/ja>



デモ体験

<https://app.ovice.com/ws/demo-space/>



無料トライアル

<https://app.ovice.com/trial-form/ja>